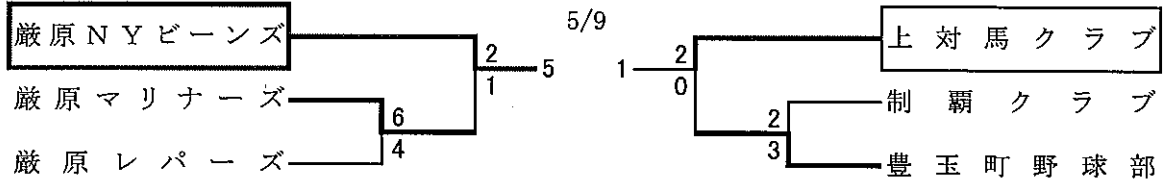


高松宮賜杯第54回全日本軟式野球(1部)・対馬予選会

第1日	4月11日	豊玉野球場
第2日	5月9日	豊玉野球場



【一回戦】 1時間54分

厳原マリナーズ	201 003 0	6
厳原レパーズ	202 000 0	4

【三】山代  
【二】木屋

マリナーズは初回に敵失から山代の三塁打と二ゴロ野選で2点、3回は四球走者を神宮の適時打で1点を挙げた。1点差を追う6回は5回から代わった豊田に対し神宮の安打を間に四死球で無死満塁とし、沢村の右前適時打で同点。遊ゴロの間に逆転し二死後に三ゴロ失で3点目。

レパーズは初回、四球と安打の走者が三盗悪送球や遊ゴロ悪送球で還り同点。3回には安打と敵失から二つの暴投で二人の三走が還って一時は逆転したが、再逆転された。木屋の3安打が光った。

【マリナーズ】 打安点球

④6	廣重 次郎	3 0 0 1
⑥5	福島 剛士	4 0 0 0
⑧	山代 毅	3 1 1 1
①	岩本 一也	3 0 1 1
⑤3	神宮大司朗	4 2 1 0
⑨	石崎 博巳	0 0 0 3
⑦	沢村 望	3 1 1 0
③4	江口 豊優	3 0 1 0
②	坂上 仁志	2 0 0 1
犠0振4残5		# 4 5 7

【レパーズ】 打安点球

⑧	田中 淳也	4 1 0 0
⑥	一宮 努	3 1 0 1
⑨	木屋 勝也	4 3 0 0
⑤	川崎 仁	4 1 0 0
⑦	扇 裕二	4 0 0 0
②	阿比留新吾	1 0 0 2
④	志賀 慶二	1 0 0 2
③	内山 歩	3 1 0 0
①	西山 勝	2 1 0 0
1	豊田 充	1 0 0 0
犠0振5残7		# 8 0 5

【一回戦】 1時間20分

制覇クラブ	200 000 0	2
豊玉町野球部	210 000 X	3

先制したのは初回の制覇。日下部達と小宮の安打に四球の一死満塁に岡部の右直打。三走に続いて小宮も本塁を突いたが好返球で憤死。続く須川の左前打で三塁から日下部智が還った。だが二回以降は立ち直った横瀬の前に6三振の無走者に抑えられた。

豊玉は築城の内野安打を足場に犠打失や盗塁で二三塁に捕逸と村瀬の適時打で同点とし、二回には投飛失から一死二三塁に上野がスクイズを決めてこれが決勝点となった。豊玉も二回以降は四球や敵失走者のみ。

【制覇クラブ】 打安点球

⑧	日下部達也	3 1 0 0
①6	三槻 伸也	3 0 0 0
③	小宮 隆宏	3 1 0 0
⑥1	日下部智久	2 0 0 1
⑦	岡部 洋平	3 1 1 0
⑤	須川 栄作	3 1 1 0
④	国分 敏幸	3 0 0 0
②	糸瀬 慎吾	2 0 0 0
⑨	高原 吉弘	2 0 0 0
犠0振7残2		# 4 2 1

【豊玉町野球部】 打安点球

⑧	築城 貴憲	3 1 0 0
④	上野 哲平	2 0 1 0
⑨	小島 洋平	1 0 0 1
②	村瀬 裕亮	2 1 1 1
①	横瀬 弘樹	3 0 0 0
⑦	梅野 譲治	3 1 0 0
③	阿比留慎太郎	3 0 0 0
⑤	扇 祥喜	3 0 0 0
⑥	平間 淳次	2 0 0 1
犠2振8残6		# 3 2 3

【準決勝】 1時間22分

厳原NYビーンズ	100 001 0	2
厳原マリナーズ	000 010 0	1

初回のビーンズは西山が三遊間を抜き小田の中前打を逸らす間に三塁を回って生還した。小田も二進し捕逸の無死三塁の好機は投飛と右飛で追加点ならず。同点とされた六回先頭の作元が四球、バントと三盗の二死後に阿比留が投前内野安打し決勝点となった。

マリナーズは四回まで新人の鳥飼に三振振り逃げ走者のみ。五回先頭の神宮が遊越えテキサス打。二盗後に坂上の三ゴロ悪送球で神宮が還って同点とした。六回に先頭の廣重が安打。四球とバントの一死二三塁に4番の岩本が三振。神宮は敬遠された満塁に坂上は中飛で同点機を逸した。

【ビーンズ】 打安点球

⑥	西山 静	4 1 0 0
⑨	角 裕司	3 1 0 1
⑧	小田 剣生	4 1 0 0
③	作元 功照	2 0 0 1
①	鳥飼 亮佑	2 0 0 0
②	原田 学	2 0 0 1
⑤	阿比留祐一	3 1 1 0
④	須川 堅吾	3 1 0 0
⑦	川崎 貴夫	2 1 0 1
犠1振2残6		# 6 1 4

【マリナーズ】 打安点球

⑥	廣重 次郎	3 1 0 0
⑤	福島 剛士	2 0 0 1
⑧	山代 毅	2 0 0 0
①	岩本 一也	3 0 0 0
③	神宮大司朗	2 1 0 1
⑨	石崎 博巳	3 0 0 0
②	坂上 仁志	3 0 0 0
⑦	永田 祐樹	2 0 0 0
H	沢村 望	1 0 0 0
④	柴田圭一郎	2 0 0 0
H	江口 豊優	1 0 0 0
犠1振6残5		# 2 0 2

【準決勝】 1時間12分

上対馬クラブ	000 020 0	2
豊玉町野球部	000 000 0	0

上対馬の佐護が1四球2失走者のみのノーヒット・ノーランを達成した。豊玉の小島も8三振を奪う力投を見せたが五回に2失点し無念の敗戦投手。

五回の上対馬は一死後に小宮が左中間へ初安打。扇の投前バントは一塁悪送球。浦崎の投前バントも野選で一死満塁。ここで洲河の右犠飛(扇も三進)と武末の左前打で2点を挙げた。走者が二塁を踏んだのもこの回だけだったのをもみても豊玉の小島にとっては二つのバント処理を自らが誤ったのが痛かった。

【上対馬クラブ】 打安点球

⑧	武末 太	3 1 1 0
⑥	梅野 英和	3 0 0 0
⑤	中原 恵一	3 1 0 0
①	佐護 正己	3 0 0 0
⑨	辻 将司	2 0 0 1
②	小宮 憲司	3 1 0 0
⑦	扇 伸秀	2 0 0 0
③	浦崎 裕亮	2 0 0 0
④	洲河 直樹	2 0 1 0
犠3振8残4		# 3 2 1

【豊玉町野球部】 打安点球

⑧	築城 貴憲	3 0 0 0
④	上野 哲平	3 0 0 0
①	小島 洋平	3 0 0 0
②	村瀬 裕亮	3 0 0 0
⑤	横瀬 弘樹	3 0 0 0
⑦	梅野 譲治	3 0 0 0
③	阿比留慎太郎	2 0 0 0
⑨	長郷 健彦	1 0 0 0
H9	扇 祥喜	1 0 0 0
⑥	平間 淳次	1 0 0 1
犠0振1残3		# 0 0 1

【決勝】 1時間44分

厳原NYビーンズ	000 000 010	1	【本】佐護
上対馬クラブ	001 310 00X	5	【三】原田

ビーンズは三回一死から阿比留が初安打、二盗後に津野の中前打で先制。四回は先頭から四死球走者がボークと原田の左中間三塁打でかえり、阿比留の左前打で原田を還した。さらに五回は投ゴロ悪送球で生きた津野が二三盗を決めて小田が左中間に弾いて加点した。

通常の試合は七回戦制で行なうが、高松宮賜杯1部決勝戦は九回戦制。上対馬クラブは七回までに出した走者は三回一死後に四球の浦崎と武末の遊内安打の二者だったが三盗死して先制機を失った。八回先頭の佐護が左中間を抜いて一気に本塁に駆け込んだ1点のみで、ビーンズの新人投手・鳥飼に後続は抑えられた。

最優秀選手賞	鳥飼 亮祐 (厳原ビーンズ)
優秀選手賞	佐護 正己 (上対馬クラブ)
敢闘賞	津野 裕司 (厳原ビーンズ)
打撃賞	阿比留祐一 (厳原ビーンズ)

6打数3安打

【上対馬クラブ】打安点球

⑧1 武末 太	4 1 0 0
⑨2 小島 健	4 0 0 0
⑥ 梅野 英和	3 0 0 0
⑤ 中原 恵一	3 0 0 0
⑪8 佐護 正己	3 1 1 0
⑫9 小宮 憲司	3 0 0 0
⑦ 扇 伸秀	3 0 0 0
③ 浦崎 裕亮	2 0 0 1
④ 武末 修一	3 0 0 0

犠0振4残1 #211

【厳原ビーンズ】打安点球

⑦ 津野 裕司	4 1 1 0
① 鳥飼 亮祐	4 1 0 0
② 田中 宏	3 0 0 1
⑧3 小田 劍生	3 1 1 1
③ 作元 功照	2 0 0 0
H8 斉藤 秀樹	1 1 0 0
④ 原田 学	3 1 1 0
H4 須川 堅吾	1 0 0 0
⑨ 木屋 直也	2 0 0 0
H 上野 雄貴	1 0 0 0
9 梅野 直樹	1 0 0 0
⑤ 阿比留祐一	3 2 1 1
⑥ 修行 武	4 0 0 0

犠1振5残7 #743

厳原NYビーンズは、3年ぶり3回目の高松宮賜杯1部県大会(6/5～・波佐見町)に出場する。

※近年の高松宮賜杯1部の決勝戦戦績

県大会の結果

21年	厳原レパーズ 6-0 制覇クラブ	1-3 西龍クラブ(平戸)
20年	〃 棄権 〃	0-7 彼杵スラッガーズ(東彼)
19年	厳原NYビーンズ 9-6 上対馬クラブ	0-7 県支払基金(長崎)
18年	〃 4-0 厳原マリナーズ	0-3 轟クラブ(諫早)
17年	厳原マリナーズ 7-0 厳原ブラックタイガース 【全国大会】0-9 クライム(静岡)	2-1 生月体協(県北) 2-0 御厨ベイスターズ(松浦) 【決】3-1 ニューインペリアルレッズ(大村) ⇒全国大会(兵庫)へ
16年	豊玉町野球部 4-0 厳原レパーズ	豊玉が辞退。レパーズが代理出場。 0-16 たちばな信金(諫早)
15年	〃 2-1 厳原マリナーズ	0-4 吾妻町体協(南高) 4-2 九電長崎 2-3 TEAM橋口(大村)
14年	〃 3-0 峰ファイターズ	5-0 エンゼルス(佐世保) 5-0 若松(上五島) 0-5 たちばな信金
13年	厳原レパーズ 6-2 厳原マリナーズ	4-5 三井楽クラブ(福江)
12年	〃 1-0 〃	2-6 飯盛クラブ(北高)
11年	〃 8-5 〃	0-6 松石電設(諫早)
10年	大洋真珠クラブ 3-2 上対馬クラブ	2-0 東海クラブ(吉岐) 0-3 大村市役所
9年	厳原ファイターズ 4-1 上対馬メッツ	2-6 浜屋百貨店(長崎)
8年	上対馬ライオンズ 1-0 厳原ファイターズ	1-0 番クラブ(佐世保) 2-0 ホワイアパッチ(松浦) 2-1 ハウステンボス
7年	〃 2-1 豊玉町野球部	2-1 佐世保市水道局 0-2 諫早信用金庫
6年	美津島ポパイ 7-4 峰ファイターズ	1-4 小長井クラブ(北高)
5年	美津島マーシャル 3-2 厳原ワイズ	3-6 鹿町バンビーズ(県北)
4年	峰ファイターズ 5-4 〃	0-11 西九州三菱自販(長崎)
3年	上対馬クラブ 4-2 峰ファイターズ	0-2 小長井クラブ(北高)
2年	豊玉クラブ 9-6 上対馬クラブ 【全国大会】6-7 桃華桜クラブ(栃木) =延長14回	4-0 菊池病院(松浦) 3-1 島クラブ(平戸) 4-3 西海クラブ 【決】3-1 全江迎 ⇒全国大会(石川)へ
元年	〃 2-0 峰ファイターズ	4-1 三井楽クラブ(福江) 1-3 安中クラブ
63年	〃 6-1 厳原海王	3-2 舩田グループ 2-1 中興化成(松浦) 1-0 小長井ク 1-2NTT長崎
62年	〃 3-1 厳原ワイズ ◆県大会は対馬開催で2チームが参加◆	1-5 大村市役所 ◆前年の同県大会優勝の厳原海王が推薦参加 5-10 舩田グループ
61年	厳原海王 6-4 美津島マーシャル 【九州】5-0 谷口病院(宮崎) 1-5 垂水市役所(鹿児島)	7-4 闘将(佐世保) 3-2 肥前(松浦) 3-1 大村市役所 【決】6-2 舩田グループ(上五島) ⇒九州ブロック(大分)へ
60年	厳原ワイズ 5-0 峰ファイターズ	2-9 西海クラブ(佐世保)
59年	上対馬ニュー北斗 4-0 厳原ボンバーズ	4-1 温泉病院(島原) 3-0 ロ/津ヤン(南高) 0-5 轟(北高)
58年	厳原海王 7-1 上県クラブ 【九州】0-7 鹿児島新報社(鹿児島)	4-3 東彼杵町役場 2-1 轟クラブ(北高) 4-2 オール江迎(県北) 【決】2-1 県経済連(長崎) ⇒九州ブロック(鹿児島)へ
57年	豊玉クラブ	福江での県大会が雨天順延。1週間後の日程を棄権
56年	厳原海王	1-2 上五島クラブ
55年	上対馬クラブ	3試合 ベスト4